

〔取組区分〕

人材育成躍

〔事業分野〕

造船業

〔実施主体〕

鈴木造船(株) \*三重県四日市

〔対象者〕

社員

## 3次元CADを活用した造船技術者の育成

～知識と技能を兼ね備えた実践技術者～

### ■ 取組の目的・背景

最後の労働集約型産業の一角を占める造船業は、ドック、クレーンなどの大型設備や手作業による多数の工程を必要とします。設計・生産活動の基盤である人材の確保・育成は、業界共通の課題でもあります。

当社は、主力商品であるケミカルタンカーの設計・生産の特殊性を踏まえ、CAD（注）などの情報技術を導入することにより、造船に必要な知識と技能を兼ね備えた実践技術者の育成に取り組んでいます。

（注）コンピュータ支援設計（Computer-Aided Design）

### ■ 取組の概要

化学薬品を運送するケミカルタンカーは、一般船舶に比べて消防などの専用設備、多く配管などを必要とする複雑な構造であるため、個々の設計者の知識や経験に依存し設計されてきましたが、今後はベテラン設計者の不足が懸念されます。

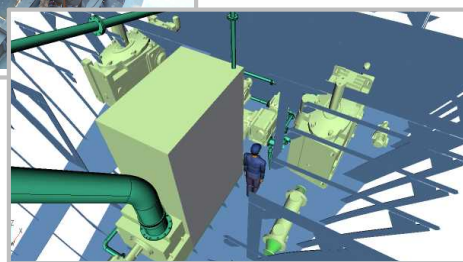
このため、当社は、総合重工メーカー以外の小型造船所では業界の先陣を切って、15年前から設計現場に2次元CADを導入し、現在は3次元CADを活用した技術開発も行っています。CADにより、設計を視覚的に進め作業の効率化を図るとともに、ベテラン設計者の暗黙知をデジタル化し設計の技能伝承も行っています。

また、当社では、CADの社内教育の充実、大学などとの共同研究を含むCADの知識と技能を兼ね備えた実践技術者の育成支援にも取り組んでいます。

CADの活用は、業務の効率化による従業員の負担軽減だけでなく、新たな発想や外部連携による知識・経験の取得の面での従業員のモチベーション向上に大きく寄与しています。



ベテラン設計者によるCADの技術指導



機関部の写真（上）と3次元CADデータ（下）